

第5学年2組 学級活動学習指導案

期 日 平成24年10月30日(火)第5校時
場 所 水俣第一小学校 5年2組教室
指導者 教諭 瀬口 歩美

1 議題名 「きょうだい学級遊びを成功させよう」 (活動内容1)

2 議題について

(1) 本学級では、「あいので (㊟かるいあいさが響き合う学級、㊤じめや差別のない学級、㊦びのび楽しく元気のよい学級、㊧きばき動く学級)」という学級目標を設定し、目標達成に向けて、日々の活動に取り組んでいる。

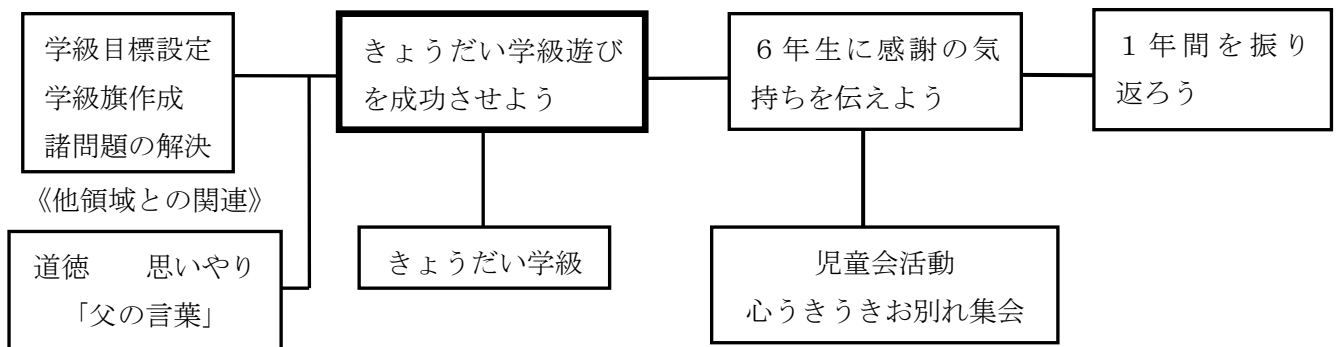
5年生になって半年が過ぎ、互いに声をかけ合って活動する姿が見られるようになってきた。委員会活動や、低学年や保育園児への読み聞かせ等も積極的に行う児童が多く、高学年としての意識も高まりつつある。

本議題は、毎年2学期中盤に全クラスで行われるきょうだい学級との交流に向けた提案である。5年2組は、2年2組とペアを組み、全3回、昼休みに活動を行う。きょうだい学級の2年2組の児童とは、学期に1回行われる縦割り班での集会活動「心うきうき集会」や、運動会などの行事で何度か顔を合わせたことがある。しかしながら、本格的にかかわるのは今回が初めてで、子どもたちはこの交流をとてもしみにしており、成功させたいという意欲も高い。

本議題を取り上げ、「異学年との交流」という実践を通して、下級生の気持ちを考え行動することの大切さを学び、高学年としての意識を高めることができると考える。また、きょうだい学級遊びを成功させるために協力して活動することで、お互いのよさを発見したり、達成感を味わったりすることができ、学級目標により近づいていけると考え、本議題を設定した。

(2) 本議題の系統と教科・他領域との関連は次の通りである。

《学級活動》



(3) 本学級の児童の実態は次の通りである。(男子17人、女子19人、計36人)

【10月に実施したアンケートの結果】

A: とてもそう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない (人)

項 目	A	B	C	D
①あなたは、クラスや学校は楽しいと感じていますか。	23	12	1	0
②あなたは、クラスの中の大切な一員だと思えますか。	12	19	4	1
③あなたは、クラスの中で自分の意見が言えていますか。	10	21	4	1
④あなたは、みんなで決めたことに、協力して行っていますか。	16	19	1	0

⑤このクラスの人、学級目標に向かって学級をよくしようとしていると思いますか。	17	16	2	1
⑥あなたは、話し合い活動が好きですか。	16	15	5	0
⑦低学年の人と一緒に遊んだり活動したりすることが楽しみです。	15	16	5	0

○本学級の児童は、全体的に活動的で、当番活動や係活動にも進んで取り組む児童が多い。

○低学年とのかかわりを好む児童も多く、このきょうだい学級遊びを楽しみにしている児童がほとんどである。しかしながら、「言うことを聞いてくれない」、「難しい」という理由で、低学年とのかかわりに苦手意識を持つ児童も数名いる。

○話し合い活動では、事前の学級会シートから、全員が自分の意見を持つことができることが分かる。しかし、話し合い活動の中で、友だちの意見を尊重して代案を出したり、自分の意見を変えたり、考えを高めたりすることを苦手とする児童が多い。そのため、話し合いが進んでいくと、積極的に発言する児童だけに任せてしまいがちな場面が多く見られる。

○話の聞き方や話し合いの進め方については、まだまだ課題が多く、教師の助言や指導が必要である。

(4) 本議題の指導にあたっては、次の点に留意する。

(事前) ○全員が自分の意見を持って学級会に参加できるよう、学級会シートに考えを記入する時間を確保する。

○児童が自信を持って発言できるよう、学級会シートに目を通し、励ましておく。

○司会グループと進行マニュアルの作成など打合せを行い、自信を持って進行できるようにする。

(本時) ○活動内容について学級目標や提案理由をもとに話し合わせることによって、話し合う目的がずれないようにする。

○話し合いの最後に、児童が自分の活動を振り返ることによって、今後の話し合い活動への意識付けと実践への意欲を高めていく。

○児童のよさを見付けて認め励まし、話し合い活動に対する意欲を高める。

○話し合いがそれた時や意見がまとまらない時には、教師が早めに助言をする。

(事後) ○役割分担表や、実践後の振り返りシートを作成し、一人一人の活動への取組と実践を通して学んだことを記録させ、学びの足跡を残しておく。

○個人や学級の進歩など具体的な事実を取り上げて評価し、次の活動への意欲を持たせる。

Aプロジェクト 思考力・判断力・表現力等の育成の視点から	
本議題で高める思考力・判断力・表現力等とは、これまでに培った話し合いの進め方、話し合いのルールや折り合いの付け方等を活用し、経験や体験と関連付けながら自分の考えや意見を持ち、それを見直したり、賛成意見、反対意見に理由を添えて出し合ったりしながら、「折り合い」を付けて話し合いをすることである。その際、司会者の進行マニュアルに児童の思考を促す内容を取り入れ、自分の考えを整理し、友達の考えと自分の考えを比べ、自分の意見や考えを分かりやすく伝える言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等を高めていく。	

3 第5学年及び第6学年の学級活動(1)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 指導・評価の計画

過程	活動日及び活動時間	活 動 内 容	指導上の留意点 ※プロジェクトの視点から	目指す児童の姿
事前	10/4(木) 昼休み	○議題の整理・決定	・学級生活に関して、問題意識を高め、学級目標につながる議題を選ばせる。	関心・意欲・態度（観察） 自分たちの生活に関心を持ち、よりよい学級をつくろうとしている。
	10/9(火) 帰りの会	○話合いの予告	・議題や提案理由について、クラス全員への共通理解を図る。	関心・意欲・態度（観察） 提案理由を意識しながら、それにもとづいた話合いにしようとしている。
	10/11(木) 昼休み	○役割・柱・めあての決定	・学級会の時間や実践を見通した計画を立てさせる。 ・分かりやすい柱やめあてを考えさせる。	思考・判断・実践（観察） 見通しを持って話合いを進めていくための準備をしている。
	10/12(金) 朝の会	○学級会シートへの意見記入	※一人一人が自分の考えを持ち、発言できるように、意見に対する具体的な理由を書かせる。	思考・判断・実践（シート） 提案理由を踏まえて、議題に対する自分の考えを書いている。
	10/19(金) 10/23(火) 10/25(木) 昼休み	○進行の仕方などの打ち合わせ	・司会の進め方、記録の仕方などの打ち合わせをし、話合いの見通しをもたせておく。 ※事前に記入した学級会シートを基に、司会進行マニュアルを作成する。	知識・理解（観察） 話合いの進め方について理解している。
本時	10/30(火) 【本時】	○話合い活動 「きょうだい学級遊びを成功させよう」	※司会進行マニュアルを基に児童の経験を振り返ったり、相手意識を考えたりさせて、思考を深める意見を出させていく ※いくつかの意見をまとめる意見を考えさせたり、反対意見を出させたりすることで、思考・判断し、自分の思いや他者への思いやりを表現させていく。	思考・判断・実践（観察・シート） 提案理由や学級目標を意識しながら考え、意見を発表している。 知識・理解（観察） 話合いの進め方や発表の仕方等について理解している。
事後	10/31(水) ～昼休み	○実践の準備	・話合いで決まったことをもとに自分達で準備を行わせる。	関心・意欲・態度（観察） 兄弟学級遊びを成功させるために、進んで準備を行っている。
	11/15(木) 昼休み	○実践	・話合いで決まったことをもとに自分達で活動を行わせる。	関心・意欲・態度（観察） 2年生のことを気遣いながら進んで活動している。
	11/15(木) 帰りの会	○振り返り	・実践を振り返り、友達や自分の頑張りなどをシートに書かせる。	思考・判断・実践（観察・シート） 活動を通して、学級集団としてのまとまりと、個人の達成感を味わっている。

5 本時の活動

(1) 目標

2年生も自分たちも楽しめ、仲を深められる遊びを、折り合いをつけながら話し合い、集団決定することができる。

(2) 展開

議題	きょうだい学級遊びを成功させよう		
提案理由 提案者 (Sさん・Nくん)	運動会も終わり、クラスや学年での仲が深まってきました。しかし、ちがう学年の人とは一緒に話したり遊んだりする機会がほとんどありません。そこで、きょうだい学級遊びをチャンスにして、2年2組の人との仲を深められればと思います。このきょうだい学級遊びを成功させるためにみんなで考え、より楽しめる遊びになればと思い、提案しました。		
話し合いのめあて	○友達の考えに反応を返しながらかく。 ○提案理由に沿った意見を出したり、友達の意見を聞いてみんなが納得できる意見を考えたりしながら話し合いを深める。		
役割	司会 (Kさん) 副司会 (Yさん) 書記 (Nさん) 黒板 (Fさん) (Nくん)		
活動の流れ	時間	予想される児童の活動	指導上の留意点 及び目指す児童の姿(★) ※A プロジェクトの視点
1 はじめの言葉 2 役割紹介 3 議題・提案理由の確認 4 めあての確認 5 柱の確認 6 先生の話	5分	・今から、「第11回 5の2あいのて会議」を始めます。」 ・司会の～です。 ・今日の議題は～です。 ・今日のめあてを確認します。 ・提案理由を、提案者の～さんに言ってもらいます。 ・先生の話です。	・提案理由の確認では、提案者の思いや活動の目的を確かめて話し合いに入らせる。 ・事前に学級会シートに目を通し、自信を持って発表できるよう励ましておく。 ・学級会で決まったことの重要性にふれ、一人一人が本気で話し合いに望む意識を持たせる。 ・話し合うということは、自分の意見に固執せず、友達の意見を認めたり、譲り合ったりすることが大切であることをふれる。 ・自分の意見や友達の意見を比べて、友達の考えを生かして自分の意見を述べたり、友達の意見との違いを示したりすることが話し合いの深まりになることを、子どもたちが意識できるような話をする。

7 話し合い 〈柱1〉 どうなれば「成功」 と言えるのか。 〈柱2〉 どんな遊びにする か。	10 分 20 分	・話し合いに入ります。柱1の、「どうなれば『成功』と言えるのか」について意見を出してください。 ・みんなが楽しめれば成功 ・2年生が遊び終わった時に「楽しかったね!」と言えば成功 ・2年2組の人との仲が深まれば成功 ・出された意見を確認します。 ・柱2に入ります。柱1で話し合ったきょうだい学級遊びにするためには、どんな遊びにすればよいですか。理由を付けて意見を出してください。 ・けいどろがいいと思います。理由は、5年生と2年生を半分ずつにしてチームを組めば、力の差もあまりなく、2年生も楽しめると思うからです。 ・ドッジボールがいいです。ぼくが2年生の時にやって、楽しかったからです。 ・ドッジビーがいいと思います。理由は、当たっても痛くないし、ボールだと2年生と5年生のパスは全然違うからです。 ・出された意見の中から一つに決めていきたいと思います。 ・第1回目のきょうだい学級遊びは、～をするといこうとでいいですか。	・出された意見は、意見としてすべて採り上げ、板書する。 ・意見が出ないときや、課題解決がうまく図れないときは、近くの人と話す時間を設ける。 ・出された意見を集約して、「成功する」とはどういうことなのか、司会者で考えをまとめ、柱2で遊びを決める際の視点とする。 ★提案理由や学級目標を意識しながら考え、意見を発表している。 【思考・判断・実践（観察・シート）】 ・理由が不明確な場合は、進行マニュアルに沿って、賛成意見を持つ児童に理由を発表させたり、他の児童に予想で発表させたりして、友達の意見の意図を理解させる。 ・小柱1で確認した「成功」の意味からずれてきた理由を述べた児童には、司会者から質問を投げかけ修正していく。 ・どうしても司会者がうまく進められなかったり、進行マニュアルにない方向へ進んだりしそうなときは、教師が助言する。 ※柱1で出てきた視点をもとに考えさせ、根拠を明確にして意見を述べ合い、学級としての総意を決める。 ★話し合いの進め方や発表の仕方等について理解している。 【知識・理解（観察）】
8 決まったことの発表 9 ふりかえり 10 先生の話 11 終わりの言葉	10 分	・今日の話し合いで決まったことは、～です。 ・次は先生の話です。 ・これで「第11回あいので会議を終わります。」	・相手の意見を認めたり、工夫した意見を出したりした児童を具体的に認め励ます。特に、折り合いを付けるような発言をした児童を賞賛する。 ・話し合い全体を積極的に評価し、実践への意欲付けができるようにする。